**クラウドソーシングのプロジェクトへの活用研究**

ソフトウェア開発コース　矢吹研究室　1142123　渡邊雄大

1. 研究の背景

まず参考文献[1]によるとクラウドコンピューティング技術の進歩はコミュニケーションの地理的，時間的制約を緩和し，グローバルに協業する機会を増加させている．とくにクラウドソーシングは情報通信技術の発達によってグローバル規模での企業のマッチングを行い，世界中の企業から多様な仕事を受注することが可能となっている．

なおクラウドソーシングとはCrowd（群衆）からSourcing（調達）するということで，主に情報通信技術を活用して不特定多数の人材プールから地理的な制約なく労働に必要な人材を調達するという考え方である．以下に主なクラウドソーシングの分類を表にまとめた．（表１）

数多くのクラウドソーシングサイトはたくさん立ち上がっているが，特にLancers[2]は日本最大手のクラウドソーシングサイトであり2008年4月に設立されている．2013年12月5日現在には220,137人もの登録者(受注者，発注者両社を含む)がいて仕事の受注と発注を行っている．このクラウドソーシングのサイトからデータを集めて分析を行うことによって，現代のプロジェクトマネジメントで新しい形として調達を行うことができるのではないかと考えたのでこの研究を行い検討することにした．

表１　クラウドソーシングの分類

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| タイプ | タスクの概要 | タスクの例 | プラットフォーム |
| デザイン&  クリエーティブ型 | 時間の見通しは立たない，  課題解決など知的創造的な仕事 | 科学的問題の解決，商品のデザイン，写真などの投稿等 | i Stock  Thredless.com  Lancers |
| プロジェクト型 | 数時間～数日程度のある一定の完結した仕事 | プログラミング，翻訳，書類の入力等様々 | Elance  Lancers |
| マイクロタスク型 | 数秒～数分程度の分断された作業 | 10秒の音声書き取り，画像のタグ付け，名刺の入力等の単純作業 | Amazon Mechanical Turk  Lancers |

1. 研究の目的

本研究では第一章で述べたLancersの過去の発注履歴からからデータを集めてデータマイニングを行う．それによってプロジェクトマネジメントに有効な情報が得られるか試みる．

1. プロジェクトマネジメントとの関連

本研究によってクラウドソーシングがプロジェクトマネジメントを行う際に，PMBOKプロジェクトマネジメント知識エリア内の調達マネジメントで活かすことができると期待している．

1. 研究の方法

以下の順番で研究を進める計画である．

①クラウドソーシングについての調査をする

②クラウドソーシングの利用されているツールを調査する

③Lancersの中から有効な過去の発注データを集める

④集めたデータからデータマイニングを行う

⑤データマイニングを行った結果が有効か検討をする

1. 現在の進捗状況

現在クラウドソーシングの利用されているツールの調査が完了されており，③Lancersの中から有効な過去の発注データを集めている．

1. 今後の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 日程 | 研究内容 |
| 12/16~12/20 | データマイニングを行った結果が有効か検討する |

参考文献

[1] 井川甲作. 比嘉邦彦. 日本におけるマイクロタスク型クラウドソーシング市場の現状調査,p15日本テレワーク学会誌,2013

[2] Lancers <http://www.lancers.jp/>

[3]Jeff Howe. クラウドソーシングみんなのパワーが世界を動かす. ハヤカワ新書,2009